

「県民の声」とりまとめ

意見・要望

出所：県民健康調査課への電話、医大コールセンターへの電話、甲状腺検査出張説明会、避難者交流会・相談会等

◇調査全般に関すること

- 1 県民を安心させるような取り組みをしてほしい。
- 2 県は見守るという目的を全面に出してほしい。
- 3 県民はモルモットではない。
- 4 調査実施が決まるまでのプロセスが不透明。
- 5 歯の検査や血液検査、尿検査などもきちんとしてほしい。
- 6 甲状腺ばかりを耳にするが、他の病気を心配しなくてもいいのか。
- 7 白血病などが分かる血液検査もすべき。
- 8 このような調査に意味はない。
- 9 対応がお役所的である。

◇基本調査に関すること

- 1 結果通知が遅い。結果を早く返してほしい。結果を戻す時期を具体的に示してほしい。
- 2 外部被ばく線量の推計値が低く、結果に納得がいかない。
- 3 「この線量なら大丈夫だ」と結果通知にはっきり書いてほしい。
- 4 時間をかけて回答したのに、結果通知の情報量が少ない。
- 5 あくまでも推定値でしかないのだからもうやめるべき。無駄だ。早急にやめるべき。
- 6 線量のパターンを示せばそれで十分なのではないか。
- 7 平日の書き方説明会には行けない。
- 8 データをとってもそのリターンがない。
- 9 書き方がわからないのではなく、書きたくない。
- 10 ラジオで毎日「問診票を出せ」と繰り返し言っている。うるさい。
- 11 推計の見直しをやってほしい。

◇甲状腺検査に関すること

- 1 その場で検査結果を個々人に説明してほしい。丁寧に説明してほしい。
- 2 1次検査の結果通知が遅い。
- 3 二次検査以降の検査結果を電話で聞けるようにしてほしい。
- 4 検査に関する画像データの取得手続きが煩雑。
- 5 検査結果の通知には震災当時の自宅付近の線量も記載してほしい。

- 6 対象を広げてほしい。(国民全て、関東や宮城など、大人、当時19歳以上の女性、成人女性)
- 7 回数を増やしてほしい。2年に1回では少なすぎる。(毎年、半年ごと、月ごと)
- 8 土日にも検査できるようにしてほしい。医大での2次検査は土日祝日も対応すべき。
- 9 甲状腺検査の検査体制を充実してほしい。県外検査の医療機関数を増やしてほしい。
- 10 検査が受けられる場所をもっと増やしてほしい。
- 11 平日に学校の外で検査を受診する場合は公休扱いとするよう制度化すべき。
- 12 うちの市は検査の順番が後回し。おかしい。
- 13 その年度のすべての検査日程を年初に明示し、本人に伝えるべき。
- 14 検査では甲状腺機能についても調べるべき。
- 15 医師やスタッフの不用意な言動で子どもが不安になっている。注意してほしい。
- 16 一次検査の会場で、スタッフの皆さんに大変親切にしてもらった。お礼を言いたい。
- 17 手術やその後の予後までフォローすべき。
- 18 自主的に検査したもので替えられるようにしてほしい。
- 19 19才になって医療費無料の対象にならないのはおかしい。
- 20 通常診療を調査に組み込むべき。
- 21 甲状腺がんになった場合にどのような治療をするのかについての情報提供が必要。
- 22 甲状腺がんになった子供たちについての詳細な情報を公表せよ(部活動など)。
- 23 「悪性ないし悪性疑い」ではなく、手術をした人の年齢別人数を報告書に載せるべき。
- 24 甲状腺がんは大人しいがんというが、がんに変わりはない。
- 25 韓国では無症状の人への甲状腺検査を行い、甲状腺がん患者が増えている。日本も同じなのではないか。
- 26 がんまたはがん疑いの人の地域名を公表するな。
- 27 手術を受けた子どものメンタルケアをしっかりとしてほしい。
- 28 県民健康調査以外の検査で甲状腺がんになっても調査の統計に含まれないのはおかしい。
- 29 コールセンターは受付時間が短い。
- 30 調査や制度設計の見直し必要。
- 31 甲状腺がん以外のものを調査していく必要があるのではないか。
- 32 福島県が検査するから余計な不安を抱えることになった。
- 33 甲状腺検査は、県民の自宅を一軒ずつ訪問して行うべき。
- 34 県・医大はすばらしい体制で対応している。
- 35 国は信用できない、指導を受けている県も同じだ。行政には裏切られている。
県の姿勢に不安。
- 36 放射線の影響が考えられないことを前提に行っている検査そのものが信用できない。
- 37 放射線の影響ではないと言われても、親としては不安だ。
- 38 「放射線の影響はない。大丈夫だ」と言い切してほしい。
- 39 チェルノブイリのデータをよく引き合いに出すが、データの信頼性に欠ける。
- 40 様々な情報が世の中に錯綜している。事実・実態と乖離しているのではないかと心配になる。
- 41 情報を隠蔽している。甲状腺の資料などは開示すべきだ。広報紙等で全ての県民が目に出来る

ようにほしい。情報を開示すべき。積極的に情報発信すべきである。

- 42 行政の説明が不足している。
- 43 がんだったお子さんの細胞をゲノム解析すべき。
- 44 19歳以上の検査について、医療機関情報の提供をしてほしい。
- 45 甲状腺検査や説明会に出かけるための交通費は国や県が負担すべき。
- 46 同意書を撤廃せよ。同意書の内容に同意できない。
- 47 同意書に体重を書くことが苦痛である。体重を気にしている子どもがいる。
- 48 県外で一人暮らしをしている。わざわざ福島県内の実家にいる親に同意書を送り、書いてもらう手続きが面倒だ。
- 49 3県調査がB判定だった人の「その後」の検査をすべき。
- 50 定期的に講演会を開催して、保護者に知識を与える機会を増やしてほしい。
- 51 子どもの検査結果がA2と来て不安だった。説明会の話聞いて今までの不安がなくなった。
- 52 検査を一度受けたということで安心していましたが、継続して受診すべきだと思い直した。
- 53 もっと早く説明会を実施していたら説明会の集まりが良かったはず。
- 54 学校での説明会は事前申し込み制にしないでほしい。
- 55 内部被ばくについての講習会開催を望む。
- 56 これから先、5、10年後、その先もずっと心配が続くのだと思った。
- 57 甲状腺検査の説明会では、大きな声で専門的な質問をする人がいて質問しづらかった。
- 58 説明会をする場合は、その会場がある市町村の学校を通じて周知してほしい。

◇健康診査に関すること

- 1 不安なのでもっと検査してほしい。
- 2 がん検診と一緒に受けられるようにしてほしい。
- 3 これから発生が予測される疾病の健診を毎年やってほしい。
- 4 子どもが幼いので、一度にすべての検査が受けられるようにしてほしい。
- 5 小児健診の病院における受付可能人数を増やしてほしい。
- 6 学校の健康診断の項目を充実してほしい。
- 7 大学生も血液検査をしてほしい。
- 8 健診の時期は自分で選びたい。
- 9 風邪やインフルエンザが流行する冬に健診日を設定しないでほしい。
- 10 集団健診の会場には更衣室を設けてほしい。
- 11 結果をもっと詳しく記載してほしい。
- 12 一人ひとりに合ったアドバイスをしてほしい。
- 13 承諾書を出さないと医大から結果を教えてもらえないのは不親切。

◇こころ・生活習慣調査に関すること

- 1 紙での調査ではなく対面式の調査にしてほしい。
- 2 質問の数を減らしてほしい。

- 3 調査に答えたのだから、自分の結果について返送してほしい。
- 4 毎年回答するのは面倒。
- 5 調査に意味を感じない。
- 6 調査票が届いたことで、震災時の辛い記憶を思い起こしてしまった。

◇妊産婦調査に関すること

- 1 無事に出産できなかった人もいるので制度をしっかりとしてほしい。
- 2 福島県で妊娠・出産・子育てに戸惑っている人のことが報道されることが多いが、震災後も福島県に住み子育てしている県民がいることも全国に発信してほしい。

◇県民健康管理ファイルに関すること

- 1 ファイルが送られてきたが邪魔。使いにくい。
- 2 県民健康管理ファイルの内容について、本当に健康管理ができるようにするべきではないか。
- 3 ファイルの効果をきちんと県民にわかるように評価しなければならない。
- 4 放射線防護策を取り入れてみたらどうか。

◇WBCに関すること

- 1 甲状腺検査には根拠があるが、WBCは検査をする意味がない（検出限界以下のため）。
- 2 県外避難者にまで意味のない検査を税金でする必要はない。風評被害を助長する。
- 3 尿検査もすべき。
- 4 平日だけではなく、土日でも検査できるようにしてほしい。
- 5 多少不安があったが、検査を受けて気が楽になった。
- 6 細々とでよいので定期的に検査などを行ってほしい。

◇その他（各調査に共通する内容を含む）

- 1 県として広島、長崎と同じ手帳を国に要求すべき。
- 2 子どもに線量計を持たせるのは人権侵害。
- 3 子どもを救えるように頑張してほしい。
- 4 信用できない。
- 5 検討委員会に県民を入れるべき。ICRPのような国際機関の人を検討委員に加えるべき。数学者を委員に入れるべき。
- 6 検討委員会で一般質問をしたい。
- 7 検討委員会をネットで中継するべきだ。
- 8 検討委員会での追求した議論を展開して欲しい。
- 9 資料を見ると、前回との値の比較ができないかたちになっている。とてもわかりにくい。
- 10 広く情報を開示し、多くの先生方の意見をいただきたい。
- 11 公表が少なすぎる。リアルタイムに公表をするべき。
- 12 県職員が各地域に出向いて住民に県民健康調査の概要の説明をしてほしい。

- 13 フリーダイヤル（電話代無料）を設置してほしい。
- 14 送付物が多すぎる。調査別ではなく、まとめて送付してほしい。個人ごとではなく、世帯ごとに送ってほしい。反応のない人に送付を続けることはやめてほしい。
- 15 送付物は日本語以外でも（ローマ字など）記載してほしい。日本語が読めない人もいる。
- 16 似たような健康管理のファイルや手帳が医大と市町村からバラバラに届く。連携してほしい。
- 17 同じ世帯で案内が届く人と届かない人がいて不安。対象を分かりやすく書いてほしい。
- 18 「福島」の文字の入った封筒を県外避難者に送らないでほしい。
- 19 データの誤通知や集計ミスに関するお叱り。

（以下余白）

「県民の声」とりまとめ

相 談

「放射線と健康」相談会

- 1 委託先 (一社) 福島県医師会
- 2 期 間 平成 26 年 8 月 27 日～26 年 12 月 14 日
(平成 27 年 1 月の開催あり)
- 3 開催地 県内全域

【甲状腺（検査）】

- ・左頸部が気になっていて先日、エコー検査を受けた。大丈夫だろうか。
- ・甲状腺検査を 2 度受けて、いずれも異常ないと言われたがそれでも心配。
- ・甲状腺超音波検査を受けて嚢胞があると言われた。この先、甲状腺がどうなるのか心配。
- ・18 歳未満の甲状腺がんが福島県で多いようだが、線量の高い地域に住んでいるので自分自身の甲状腺がどうなっているのか心配。
- ・甲状腺嚢胞が 3 個あると言われたので、今後の経過が心配。
- ・甲状腺エコーを受けたら嚢胞があり心配。
- ・子供の外遊びについても不安です。
- ・原発事故後に外での作業が多かったので、甲状腺の腫れが気になる。
- ・橋本病と言われているが、放射能の影響が気になる。
- ・孫の甲状腺疾患に関する相談。
- ・病院で「橋本病」と言われた。現在、内服治療中。放射線との因果関係は。
- ・甲状腺腫（良性）が悪性になるか。
- ・甲状腺がんの症状について知りたい。下顎部が腫れたと言われたので心配です。
- ・娘が甲状腺スクリーニングで、のう胞と言われた。大丈夫か。
- ・本年 8 月に出産したが、甲状腺被ばくは心配しなくてもいいのか。
- ・1 年前よりとても疲れる。朝方鼻血が出るようになった。今までに数回あり。運動もしていない。甲状腺が心配。

【食品】

- ・自分のところで作っている野菜が心配。
- ・福島県産の食品の選び方。生活で注意すること。
- ・放射性物質を排出する食べ物はないか。食事が不安。
- ・近くの山で採取したアケビを食べても良いか。
- ・家族で若い人は水道水ではなく、ペットボトルを買っている。その必要性があるか。
- ・自分のところで作った米を原発後も食べて心配ないか。

- ・放射性物質でがんになった場合、特にひどいと言うが本当か。
- ・放射線に関して、食材に含まれるかが気になります。
- ・事故直後は、近所の方が作った作物をいただく等、線量測定しておらず食べるのが心配だった。家族からは大丈夫と言われ、ケンカになることもあった。
- ・春、笹巻を作って食べても大丈夫か。
- ・離乳食について。
- ・自家栽培の野菜を子供に食べさせてもかまわないか。野菜は1度放射線量を計測してもらって、大丈夫と言われた
- ・家庭菜園について。
- ・食べ物は大丈夫か。
- ・農家からいただいた野菜類は大丈夫か。
- ・3歳の子供がいるが、食事や外で遊んで良いか心配。
- ・子供の食べ物が心配。実家で作った野菜は？
- ・公園で子供がいろいろな物、植物等をさわって手をなめてしまうが心配はないか。
- ・夫がWBCを受けましたが、1回きりで良いのでしょうか。
- ・1歳7か月の子供がいる。食べ物で気を付けることはあるか。

【空間線量等】

- ・事故当時、幼稚園児が線量率が高い所に住んでいた。心臓の手術も経験しており定期的にレントゲンも受けている。どのように考えればいいのか。
- ・庭木いじり、泥いじりしても大丈夫か。
- ・線量(空間)や食品の放射性物質が気になり、アウトドアの遊びが少なくなった。
- ・今、線量はどのくらいになっているか
- ・自分の実家がある町の放射線量、野菜は大丈夫か心配である
- ・子供が外で遊んでも大丈夫か
- ・息子(50代)が原発事故後、外にいることが多いので心配である。
- ・実家から薪をもらったが、使っても問題ないか。

【がん・遺伝】

- ・本年6月にWBCを受け、280 Bqの値が出た。がんのリスクの心配はないか。
- ・8年前、症状は無かったが乳頭がんの診断を受け手術した。その後、何でもないがもう大丈夫か。
- ・がんについて。両親ががんなので遺伝的なことについて心配。子供もがん・放射線について心配。
- ・郡山で除染の仕事を1年以上しているので、がんに対して不安があり、どのような健康影響があるのか知りたい。放射線は、がんを作りやすくしているのか知りたい。
- ・未婚の娘がいるが、将来、妊娠、出産、孫への影響がないか夫が心配している。

【医療被ばく】

- ・CTの被ばくによる発がんリスクについて。
- ・レントゲンを受けて肺がんになると聞いた。
- ・高齢者のレントゲン撮影について相談。年間何回まで許容範囲か。
- ・子供がCT検査を受けたが放射線はどうか心配だ。

【WBC検査】

- ・ホールボディーカウンター受診についての相談。案内がきているが、まだ受けていない。
- ・ホールボディーカウンター再測定となったが、理由は何か。情報をオープンにしていないのではないか。
- ・ホールボディの受診連絡が昨年来たが、まだ受けられるか

【放射線に関する情報発信】

- ・放射線の知識を伝えることで、安心する人と、逆に心配になる人が出てくる。どのように考えるべきか。
- ・孫が東京に住んでいて実家（福島）に帰ってこない。

【放射線の健康影響一般】

- ・DNA二本鎖切断において、切断の被ばく線量しきい値はあるのか。
- ・孫への放射線の影響はどうか。様々な情報があるが、何が正しいのか。
- ・外部被ばく、内部被ばくについての相談。
- ・事故後、ヨードやセシウムなどによる被ばくで、今後健康に影響があるか心配です。
- ・ヨウ素について。
- ・放射性物質による健康影響と、食品中の放射性物質による健康影響。
- ・転勤で6月に引っ越してきた。放射性物質によるこれから引き起こされる病気があるか。
- ・放射線の影響について。
- ・子供への影響と今後の対応など。
- ・放射線の人体被害とは、何をさしているのか。全般的なことを教えてほしい。

【その他の健康一般】

- ・耳鳴りが心配（耳鼻科通院中）。
- ・腹部腫瘍で放射線治療を受けているが、なかなか治らない。
- ・アスベストについて。地震で壊れた物置の壁からアスベスト。
- ・肥満に関する相談。
- ・健診結果に関する相談。血糖値、悪玉コレステロールも高かった。服薬は必要か。
- ・脊柱管狭窄症からくる坐骨神経痛についての相談。
- ・慢性胃炎の相談。健診で慢性胃炎、粘膜が赤くなっていえると言われた。
- ・気管支炎、風邪のあとの喉の乾燥管、カサカサ感。特に夜がひどい。

- ・ 血圧が高い状態が持続している。
- ・ 魚の骨がひっかかった。喉に違和感あり。
- ・ 血圧の相談を受ける。
- ・ 知人の脳梗塞症例についての相談。地元でリハビリできないのか等。
- ・ 下肢のしびれについてと高血圧について。
- ・ 子供の足X脚について。レモンをおいしいと食べている。味覚障害ではないか。

(以下余白)